

中河内ブロック支援通信

令和8年1月5日、東大阪支援学校を会場に、「令和7年度 支援教育地域支援整備事業 第2回中河内ブロック研修会」が行われました。

すべての子どもたちが学びやすい環境をめざした環境調整 ～ひと・もの・空間の3つの環境→実態把握→環境調整の実践～ 講師:空に架かる橋 代表 いるかどり 氏

【講師プロフィール】

公立小学校教諭、学校心理士、まなび環境デザイナー、特別支援教育コーディネーター、「空に架かる橋 I コミュニティ」代表。一般社団法人日本インクルーシブ教育学会代表、各種学校などで研修講師としても活躍。全国各地で特別支援教育教材展示会のほか、図画工作ワークショップや講演会を企画・運営している。

当日は、中河内ブロック内の各学校園から約200名の先生方にご参加いただきました。参加者の皆さまは、いるかどりさんによる貴重なお話を、終始真剣な表情で聴講されていました。講師の先生にご協力いただき、書籍や教材の展示も行われ、参加された先生方は実際に教材に触れたり、関連書籍を手にとったりするなど、限られた時間を有意義に過ごされていました。

当日の様子



いるかどりさんの Instagram でたくさんの教材が紹介されています！気になる方は「いるかどり ☆特別支援教育」で検索してみてください！

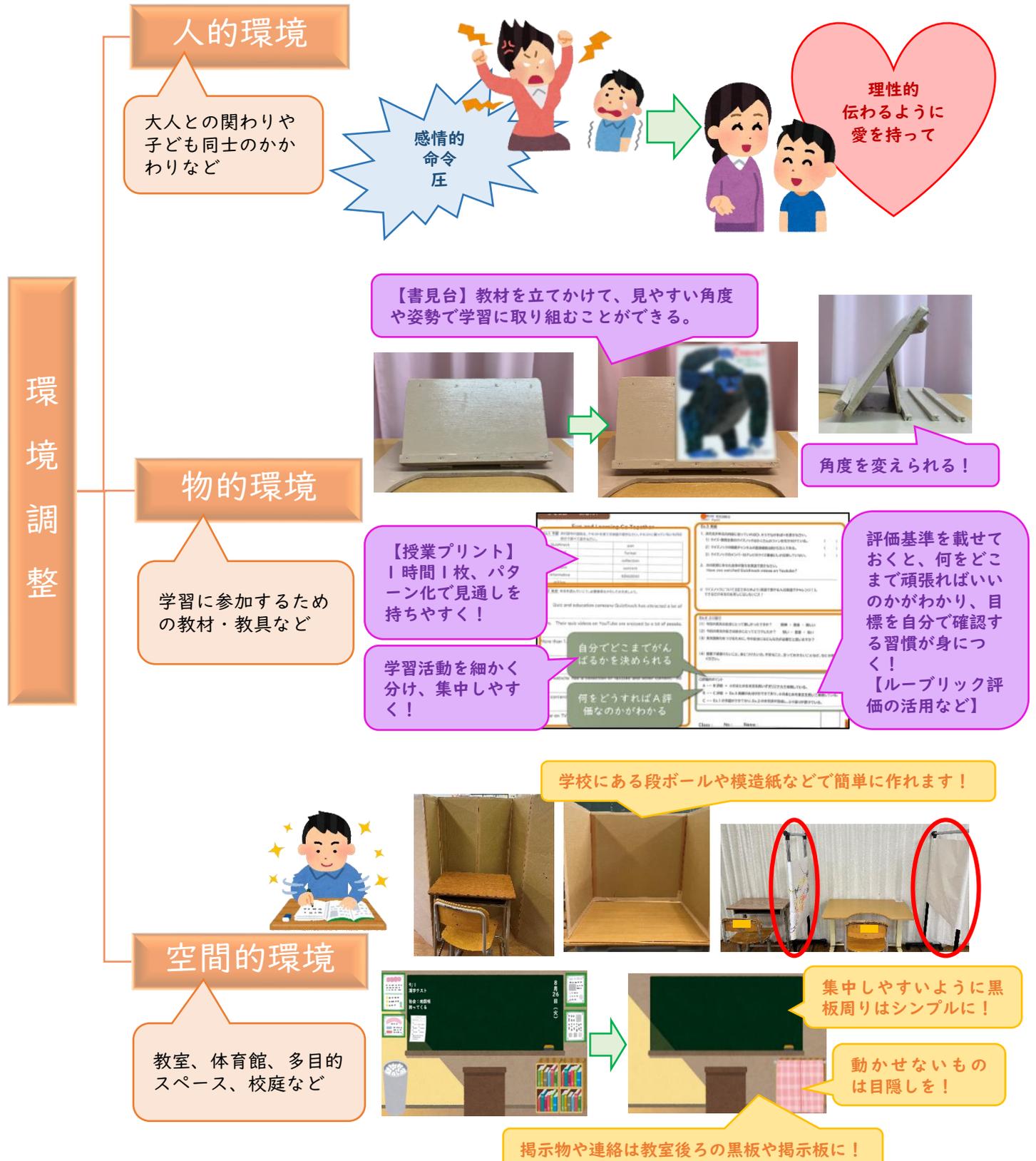


参加者のアンケートより（一部）

- ・「環境調整」が子どもの落ち着きや学びに直結することを痛感しました。学んだ配慮事項を日々の教育活動に取り入れ、より良い支援につなげます。
- ・何ができないか、ではなく、何を調整したらできるか、という視点の大事さを知ることができました。
- ・1時間半があっという間に感じる講演でした。「～すればできる」という表現が印象的で、今後使っていこうと思いました。
- ・どのお話も具体的だったので、「うちの生徒なら、、、」と想像しながら聞けました。トラブルが起きた時、教師の声掛けも大切だと再認識できました。
- ・環境の整え方、生徒への声のかけ方など、学習することができました。学習すればするほど、支援学級担当教員は専門性が必要であるなと感じました。
- ・たくさんの教材が紹介されていて、「あの子に使いそうかも」と楽しんで見ることができました。また、いるかどりさんのお話から、「寄り添う」「子ども主体」をあらためて確認する場となりました。ありがとうございました。



いるかどりさんの講演より学校現場で活用できるアセスメントの方法と支援について



東大阪支援学校はなさくプロジェクト

研修会終了後、短時間ではありましたが本校「はなさくプロジェクト」の一部見学を実施しました。当日は多くの先生方にそれぞれの教室を見学していただきました！ご興味のある方は、ぜひ本校までご連絡ください！



はなさくプロジェクトの目標

- (1) 「生命の安全教育」を含めた「生きる教育」の推進により「自分も相手も大切にしていってつながって生きていく力」を育成
- (2) 「自己表現の可能性」を広げ 自尊感情が高まり「ウェルビーイング」を実現

